

「52週で憶える最重要英語基本動詞 600」[試行版]

—概要—

英語学習で基本中の基本と言える英単語学習、しかもその中でも**小学校や中学校で学ぶような基本動詞の用法と意味を習得**することを目指します。その場合、**単語を意味概念の枠組みに分類**して、提供していきます。すべてを憶えようとするのではなくて、概念の枠組みを意識しながら、それぞれの単語に眼を通してみてください。基本動詞の用法とその語義・訳語が少しでも見えてくれば、学習の完了です。

* なお、ここで提供されているのはまだ**[試行版]**です。今後、さらにリファインして行く中で、**[完成版]**として皆さんに提供していく予定です。

* **[完全版]**では、動詞の基本語ばかりではなく、動詞の重要語や難単語は勿論、形容詞も名詞も扱っており、派生語・同意語・反意語・成句を網羅し、英検1級の単語は当然のこと、JACETが定める8,000語は言うに及ばず、CEFRが定めるCランクの単語まで学習できるようになっています。ご期待下さい!!

I 全体構成

- i) 600 の基本動詞を 140 の概念の **BOX** に分類してあります。
- ii) この 140BOX ある動詞 600 語を **52** 週で確認していきます。
- iii) そのため BOX の数は週毎に異なることになり、1つから3つの概念枠に亘って学習が進みますが、毎週、出会う単語数は平均して **10 語前後** になるようにしてあります。

II アクセス方法

- i) メンバー・サイトの Community News および毎週お送りするコミュニティーメールにあるリンクボタンをクリックすると、「**52週で憶える最重要英語 基本動詞 600**」[試行版] - **INDEX** の記事が開きます。
- ii) 開きたいファイルをクリックすると、スマートフォン(Android/iPhone)でも、タブレット(Android/iPad)でも、さらに PC でも、通例は、ファイル形式に紐付けられたアプリが自動的に開き、内容を閲覧できます。

* なお一部機種によっては閲覧できない場合があります。大変申し訳ありませんが、[試行版]ということで、仕様とさせていただいております。その場合には、異なった機種およびPCで閲覧してください。

- iv) ファイルの書式はスマートフォン(Android/iPhone)の縦画面での閲覧に最適化されています。
- v) ファイルは大きく次の4つに分かれます。

[解説ファイル]

- a. <英語基本動詞 600_概要と学習方法>
 - * このファイルです。
- b. <英語基本動詞 600_凡例>
 - * 単語の語義・訳語・用法に関する記述の規則と用いられている記号・略語のまとめです
- c. <英語基本動詞 600_総目次>
 - * 52週分の目次と全単語のリストです。全体を通覧することができます

[英語基本動詞 週別ファイル]

<英語基本動詞_第○週>

- * 週毎の単語ファイルです

III <英語基本動詞_第○週>の構成

i) 最初のページはタイトルになります。次ページにスクロールすると<今週の単語>の一覧が出てきます。10語前後の単語がBOX名とともに、並んでおり、その週にチェックする単語の全体が分かれています。

<p>1/26</p> <p>第1週</p>  <p>A 動詞</p> <p>A-1 運動と作用</p> <p>A-1-(1) 終始 / 動静</p>	<p>2/26</p> <p>BOX 001 [存続・持続]</p>  <ul style="list-style-type: none"> 01-001 be 02-002 exist 03-003 stand 04-004 stay 05-005 remain 06-006 leave 07-007 keep 08-008 continue 09-009 hold <p>BOX 002 [発現・消失]</p>  <ul style="list-style-type: none"> 10-010 arise 11-011 spring 12-012 disappear
--	--

ii) その後のページからが、実際に学習していく単語のページになります。1単語につき、問題と解答のページが、それぞれ1ページずつあります。ページの先頭に<○○ Question>とあるのが問題ページ、<○○ Answer>とあるのが

解答ページです。それぞれのページの一番下には、**<○○ Answer>** **<○○ Question>** という緑色のボタンがありますが、これをクリックすることで**<○○ Question>** **<○○ Answer>**を瞬時に往復できるようになっています。もちろん、両者をスクロールして確認することもできます。

- * 一部の機種・アプリでは、緑色のボタンをクリックしても相互に飛ばない場合があります、仕様ということでご容赦ください。
- * なお、ブラウザを変更したり、PDFファイルを開く専用のアプリを利用していくと、この機能が有効になる場合がありますが、アプリのダウンロードおよびその利用は自己責任ということでお願いします。

<p style="text-align: center;">11/26</p> <p><05 Question></p> <p></p> <p>■ remain</p> <p>(1)(…に)_____・とどまる[+副(場所)]</p> <p>(2)(Aに)残されている[of A]《<物><事>が》/これから…されなければならない[to be done]《なされるべきものとしてまだ残っている》</p> <p>(3)_____ C の _____ [C] <!>remain は leave の自動詞に相当し, S leave O(S が O を残す) ⇔ S remain(S が残る)の関係</p> <p style="text-align: center;"><05 Answer></p>	<p style="text-align: center;">12/26</p> <p><05 Answer></p> <p></p> <p>■ remain</p> <p>(1)…に残っている・とどまる[+副(場所)]</p> <p>(2)(Aに)残されている[of A]《<物><事>が》/これから…されなければならない[to be done]《なされるべきものとしてまだ残っている》</p> <p>(3)依然として C のままである[C] <!>remain は leave の自動詞に相当し, S leave O(S が O を残す) ⇔ S remain(S が残る)の関係</p> <p style="text-align: center;"><05 Question></p>
---	---

－学習の進め方－

- i) ご自分の学習の進度に応じて、ファイル名が<英語基本動詞_第○週>のファイルを開きます。
- ii) 最初の<○○ Question>のページを見ますと、**単語の語義が空所で複数の赤色の下線が引いてある箇所**がありますから、それが問題になります。このとき、それぞれの語義・訳語の後ろにある[]の中の説明に着目してください。たとえば、 ■ remain の(1)の訳語の後ろには[+副(場所)]とあり、(3)の訳語後ろには[C]とありますから、そのような用法で用いられた場合にどういう語義・意味になるかを確認します。

(1)(…に) _____ •とどまる [+副(場所)]

(3) _____ c の _____ [C]

それを<○○ Answer>ページで理解していきます。
- iii) これらの記号や符号について、<英語基本動詞 600_凡例>というファイル名にある解説をご覧いただき、よく理解した上で学習を進めてください。

iv) **<05 Answer>** **<05 Question>** を

クリックして、また上下にスクロールして行きつ戻りつしてください。「極めて簡単な基本動詞にこんな意味や用法があつたんだ」とイメージできるようにしてください。**完璧に憶える必要はまったくありません。基本動詞が持つ語法の多様性とその語が持つ意味の膨らみが理解できたら、それで学習は終了です。**

v) なお、下線のない語義・訳語は発展的な内容となります。中でもボールド体になっているものがとりわけ重要な用法と意味になります。これらにも眼を通していただくことで、さらに深い知識が得られるようになっています。

vi) 毎日 1 単語ずつ理解していくというやりかたでも、ある日にすべての単語にザッと目を通し日を追って繰り返し見直すでも、構いません。皆さんの**空いた時間を利用**して、活用していただければと願っています！